

夏季幼稚園に於ての 注意事項及積極的鍛鍊

大阪市立汎愛幼稚園長 藤 本 ツ 吉

新しく入園した幼児も園生活に漸く馴れて來た今日此の頃、風薫る初夏が爽やかに訪れた。庭の一隅に植ゑた一本の柳さへ軟い緑の色美しく、今はもうすっかり若葉だ。気分は晴れる、空ははれる、と言ひたいところ。

今に梅雨がやつて來る。鬱陶しい日が幾日も續くことであらう。子供はこもする風邪をひき腸をこはす。近頃のやうに甘いものが不足して居るお腹の故障は幾分助かるがそれでも用心が肝要である。

毎朝幼児を園門に出迎へて一番に顔色を見る。ジメ／＼した薄ら寒い様な日なのに割合に薄着で皮膚には粟粒が浮かんではゐる子も見受ける。これは薄着過ぎる、ミシミーズ一枚を家に取りにやる。夏服はコレ／＼と定め込んで天候ミ一向お構ひなしのうっかり者の親も多勢の中には居る。

「お母さん行つて参ります」ミ挨拶せられる聲を聴き流し

て御自分のお仕事にのみ追ひ廻されて居る家では、つひ出て行く子供の顔さへ見やらすに過す事が間々ある。子供の顔に、皮膚に、赤いブツ／＼が出て眼も少々うるんで気分もよい方ではないが、幼児は「明日も亦元氣にいらつしやい」ミゆびきりして下さつた先生のお言葉に勢が出て、幼稚園に行かなければならぬものとして元氣さうに登園する。

ニコ／＼として早や出迎へて居て下さる先生、「お早うございます」の聲もそこ／＼にその袖に飛びつく。大まかに、豊かに、悦びに満ちて此の子を迎へた先生ではあるが子供の顔の赤い斑點を見逃さない。○○ちゃん、一寸お見せ、ミ洋服の胸を解いて肌を検査する。矢張り身體にもブツ／＼が出来て居る。お医者様でない保母は、多分麻疹だらうミ想像はするが念の爲園醫の診断を受けに行かせる。麻疹のブツ／＼ミ尋麻疹のブツ／＼ミの見分けに一寸困る時もある

るが、數多くさうした事に當つてみるに何時か知らぬ間に
 判斷が誤らぬ様になつて行く。麻疹を診斷され、ば早速家
 庭に追ひ返して他園兒への傳染が免れ得たものゝ安堵す
 る。

朝の集會の時一緒にお遊戯しながら○ちやんの元氣の無
 いのに氣がつく。お食事の時御飯の食べ方がいつもより進
 まぬ事を發見して身體の調子の悪い様子を手紙して一寸早
 目に家に歸らせる、幼稚園を家庭との連絡がよく行つて居
 るならば、蕁麻疹等出來てゐる時はお母さんからその症狀
 に對する言葉なり添手紙なりがある筈である。差障りのな
 い腫物にしても平常でない子供を登園させるのだから家庭
 の母から園の母である保母へ引續きがある様騾け度いもの
 だ。お腹がゆるんで居ても顔色に書いてないことがあつた、
 保母は何時もの調子で心得て保育するから時には、しくじり
 が起きる、異常を知つて居れば注意の向け様もあるものだ、
 子供乍らにしくじりを獨りで始末しやうとして、そこらあ
 たりを汚し廻り大騒ぎを演じて朝の大切な一、二時間が一
 人の子供のために丸つぶれになつて了ふ。夜更しをした翌
 朝は寢不足のために子供ながらにイライラした氣分になる
 こともある、左様な時には保母が仲間入りをしてなるべく
 他人との衝突を避けて靜に遊ぶ様に扱ひ度い。斯様な場合
 保育時間を短縮するのも一法である。

雨上りのよい天氣の日、プール遊びの用意の爲にお砂場
 の砂を他へ運ぶお仕事を始める。子供は毬やスコップで遊
 ぶものごのみ定め込んで居た舊體制觀から脱して子供も子
 供相當の力遊びをさせてよい。小さいバケツにお砂を入れ
 る者、これ運ぶ者等、分擔をきめて幾日も連續的に手順
 よく總がかりで此の作業をする。根氣よくする者さ飽きつ
 ぱい子さ、力のある子さ力無しさ、要領のよい子さ悪い子
 さの見分けがつく。餘り砂を入れ過ぎて貰つて重くて難儀
 をしてゐる時傍に居た子が「僕がかいて上げやう」と親切を
 行ふ、保母は此の優しい姿を微笑みつゝ見逃さない。誰も
 お手傳ひの幼兒がない時は保母が手傳つて、幼兒をして助
 けられることから來る有難さの實感を味はせる。繪本やお
 話で聽く親切の説明よりは體驗を與へる方が一生を支配す
 る力強さにならうと保母自身も嬉しくなる。

○先生も御一緒に運んでいらしやる。○先生も一生
 懸命だ。一つ仕事に幼兒も保母も小使も總力を擧げてする
 さいふ環境にこそを置く事は、總親和の魂を培ふことに
 なる。物資不足の折柄にも拘らず、こんなに暖か暑いまで
 になつて居るのに短靴下を沓いてゐる幼兒がある。幼兒は
 遊びに熱中して來る暑苦しくなつてこれを脱ぎ棄て、
 然も片脚を散らかして了ふ、夏も素足はつきものだ、時
 に幼兒の靴をみな脱がせてお砂場で思ふ存分砂を踏ませ

る、砂場から出させて今度は玉砂利の上を歩かせる。少々痛い。面白い、再び砂場に入らせる。脚の裏の感觸が違ふ、出たり入つたりたゞそれだけの遊びで興味は津々。これを毎日の様に繰り返すならば扁平足は自然に治る。マットの上、板間、板石の上、ミ物質の違ふ處から來る感じを與へるのも面白い。科學的に扱ふさいふ事はかうした遊びからも生れる。納屋からトタンへの板を持ち出し、粘土を伸べた上や、枯草の上も踏ませて見たくなる。亦スコップを木琴の様に並べてその上をソロソロ歩かせれば丸味から來る脚裏の違つた感じがする。斯く考へかく行つて見るミ次から次へミ方法が生れ出る。

遊び草臥れるミ何さなく元氣が抜ける。所謂疲勞するのだ、暑くなつても午後三時迄遊ばせやうとするミ二時頃には階上の疊敷室に誘導して毛布の上に敷布を敷き、その上に恰度魚櫛に刺した魚のやうに幼児を仰向けに臥させて脚からお腹にも薄い毛布を掛けて休息をさせる、眼を閉ぢ聲を出さぬ様約束するミ、スヤ／＼ミ深い眠りにまで入る。年少兒なきは三十分も寝込んで起すのに骨が折れる時さへある。深い眠りにつく迄もなく一日の中一度は背を伸ばす爲に、平常でも平たい處に仰向けに十分間位は安靜にさせぬ。

保姆も幼兒のお手本になつて眼をつむるミよい、確かに

疲勞は恢復する。

活動―疲勞―恢復―快活―活動―疲勞……活動の次に疲勞が必ず來るものミは限らず、休息必ず疲勞恢復ミも云へない。氣分轉換も休息になり疲勞の恢復ミなるミがある。疊敷の室が無いならば、床上に蓆座を敷いて仰臥させてもよいし、机を寢臺だミ云つて扱つても爲し得る。

力一杯勢一杯に遊んで而も實用的なのは清掃遊びの様に思はれる。大人用の雑巾棒を扱つてお遊戯場全體を拭ふのであるが、幼兒はお掃除をするミいふよりも雑巾の濡れあミが鮮やかにつくのに興味を持つて、一番線、二番線ミ電車遊びをして居る積りで活動を續ける。時には兩方から棒がつき合つてさうにも動かぬ事がある。左様な時は一生懸命、どちらも後へ退かうミはせぬ、相手ミ同等の力量ならば何時までも頑張り續けた擧句「アッハッハ」ミ満足的笑ひが出てやつミ横へ避け合ふ、力の満足を得たのであらう。これは紙を剪つたり貼り付けたりする靜かな遊びミ事が違ふ。正に全心全力の活動である。而もこの遊びの中に清潔ミ勤勞の習慣を養ひ、亦愛園の情も培はれて行くミを思へば一石二鳥の感がある。

暑くなつたのに前掛をきちんミつけて下着上着も正しく、公式禮裝ミ云つた調子の服裝で登園する幼兒がある、遊ばぬ先から汗ばんで居るのは無駄なミミだ、斯様な事は

身體の爲にはならぬ。一日母姉會を開いて、廢物利用を考慮に入れた夏の簡單服の作り方を講習し、女兒は有り合せた模様布等で、シュミーズにボケット、バンド代用の腰紐を付けた程度のもので、男兒には胸や脊を充分明けた涼しい上着に軽いズボンといった出来る丈に軽快な服装で登園させる様打合せて置く。その序に水遊び用、整容用、午睡用等のために、タオル、ズロース、下着、天瓜粉、櫛(男兒不用)等を入れた袋を毎日持参させる様約束して置く、午睡の後汗ばんで居る時は下着を着替へさせる。

「皮膚の鍛練眞夏から」に親にも心得させて水遊び等もさせるが、お腹を水に浸す事は私の園では差控へてゐる。プール遊びも、午前の涼しい時は避けて水を運んだり、水鐵砲遊び等盛に行はせる。

プールに全身を浸すならば先づ使用をさせ、鼻汁をかませ、耳に綿をつめて五分間位の程度でいゝと思はれる。プ

ールから上つてお風呂や鹽のお湯で身體を流すに皮膚がサラツミするがそれが行へない場合は、ホースの下を潜らせるに皮膚が清淨になり、とても面白がる、女兒にはハンカチーフを洗はせたり、手旗や小さいカーテン等の洗濯遊びをさせるに勤勞の習慣をも養ひ得る。

暑い時に汗を出す遊びも亦よい。木蔭でお相撲をさせて頑張りのいゝ子にも育て上げやう。又夏の植物中主なるものを幼兒と共に栽培し旺盛なる生育の有様を観察させることは必要である。殊に各自一鉢宛植ゑた朝顔の世話を日々責任を持つて樂しみつゝさせる。活動の後には手足は勿論お顔も洗はせて衛生的な様を充分させて歸らせる事にす

る。日本の國は恵み多い四季があつて實に有難い、事情が許す限り近郊の山間や濱邊に日歸り移住を行ひ、園内でも充分夏の歡びをこり入れて、保育の高潮を期し度い。

東京市番町幼稚園 徳久智江子

一寸動いても汗ばむ様な此の頃、年々再々同じ事ながら「暑い時の幼稚園」に於ける心づかひをふりかへつておく事も又必要であると思ふ。

設備の方面 出来るだけすがすがしい感じを幼兒が受け

る様に、掃除も小ざつぱりこ、清潔に、整頓しておきたいものと思ふ。

室内 は常に風通しよく、窓を十分に開いて、仕事の際

の直射光線を避ける爲に、カーテンも必ず用意したい。

砂場の上には、藤或はあけび棚等が出来て居て、適當に
よい木蔭を作つて居る事と思ふが、無い場合は、篋で日よ
けをしてほしいし、木立があつたら、其の木蔭で遊べる様
に工夫する事も必要である。

又幼児は非常に水遊びを好むので、プールがあれば其の
掃除、水遊び用具をさゝのへる。プールの無い場合は、大
きなたらひの二つ三つもあつて舟を浮したり水鐵砲をした
り存分に水遊びが出来る様にしてやりたいものと思ふ。

汗を出すので、お遊びの後さつぱり顔を洗ふ洗面器、
めいゝの手拭を下げて置く場所も用意しておく。

身體方面 夏は何さいつても、身體方面の注意が先づ第
一必要であらう。

幼児の遊び状態に絶えず注意する事、だる相な様な事は
ないか、あくびはしてゐないか、いつもと同じ元氣さで居
るかを常に注意して居て、幼児の苦痛を訴へる前に發見す
る様に心掛ける事、發見した場合には早くに適當な方法で
手當をし、家に送り届ける事。疫痢等の場合は、初めに
手當をしたかしないかと一命にかかはる場合がある。但し
保母だけでなく必ず醫者と相談の上で行ふ事が必要であ
る。

外で遊ぶ時は帽子を忘れずに。存分に戸外で遊ばせたい
時であるが、長い時間頭をてりつけられる様な事の無い様

に。

手、足を特に清潔にする様心がける。汗を両方で兎角不
潔になり易い手足は、平素より特によく洗ふ習慣を養ひた
い。

汗をよく拭ふ、手、足の方にも關聯して来るが、汗はよ
く拭ふ様にさせ、力一ぱい遊んで汗を出した場合は、顔を
洗つて、さつぱりさする様にしてやりたい。それにはエプ
ロンにつけてゐる半カチでは充分でないので、出来たら手
拭を一本づつ持たせて、それで拭ふ様にする。日々其の手
拭を清潔にしておいてやるのは保母の仕事の一つ

服装は、毎日すつかり取替へて洗へる様な簡單な服装、
思ふ存分手や足を日にあてる事の出来る様な物にして、薄
着の習慣を是非夏からする様に、家庭にも連絡する事が必
要である。

保育の方面 夏は出来るだけ室内よりも、外を利用する
事を考へて木蔭でのお話、藤棚の下での粘土製作さいふ様
にしたいと思ふ。

然もそれがあまり長時間にわたる事の無い様、寒い時よ
りも一つの事の時間を短くしてやる事が必要である。そし
て朝の涼しい中に、製作等を行つて、日盛りは水遊び、砂
場遊び等で存分に遊ばせる様にしてほしいと思ふ。

夏は實に豊富な自然に恵まれて居る時である。野菜、果

物、花、蟲、雷、夕立、雲、等々、幼児の身近に觀察させ得る物が實に澤山あるから、出来るだけそれ等に親しませる事が必要であらう。朝涼の中に、朝顔の手入れ野菜物の水やり、飼育動物の世話等も、幼児と共にやりたいものと思ふ。

身體方面の事最も密接な關係があるが、水遊び、特にプール遊びについては十分の注意を行ふ必要があると思ふ。






前以つて身體検査を行ひ、マントー氏反應で陽性の者、養護を要する者、眼疾、濕疹のある者、尿檢の結果故障のある者は之れをさげさせる。プールには入る前にはシャワーで體をよく洗ひ、清潔にすると共に急に冷い水には入る事の急な變化をさける。又體操も行つてから入れる。水中ではきはめて少時間(五分位)入れて十分位休ませる様にして全體で三十分以内にする様にしたいと思ふ。プールから出て後は、よく拭つて早く着物を着る事、シッカロールをつけ點眼する事も忘れぬ様に、又食前間際及び食後すぐには入れない事は申す迄もない。

七月は月の半過ぎから夏休みには入る所もあるので、自然に夏休みの事も連絡して考へておく必要があると思ふ。夏休みは、幼児にまつて、きこまでも楽しいものであるが、然し我まゝ勝手を許されてよい時ではない。どうかするこ

折角出來た躰が、夏休み中に中断され、又はこわされてしまふ事があるから、よく家庭に連絡をして、平素幼稚園での躰をますゝ活用する様にしていただきたいと思ふ。夏休み中の帖面の様な物を作り、生活訓練、製作に對する指針、唱歌等を適當に盛り込んで、幼児の遊びの材料にもなり、お母様方への一つの指針とするのもよいと思ふ。又生活表(別表)の様なものを作り、日々の事を幼児に記入させたりするのも面白い。但し此の場合、必ずそれが、幼児の重荷に感じ事のない様内容その他に注意する事を忘れない様にしたい。夏休みは平素よりも、両親が郷里へ歸るごか、旅行をする機会も多いので、子供には更に又興味深い色々な觀察が得られる事と思ふ。

夏休みは、ごこかで動かない大きい網をぐつぎ引きしめながら思ひ切つて其の中で子供を自由に動かさせて居る様にしてお母様方にも願ふわけである。

健康生活表

要項 八月日附曜日	ハヤオキ (六時) 	カホアラヒ ハミガキ 	イタダクマヘノ オテアラヒ 	オヤツハ ードダケ 	ハヤオ (七時) 	一日一回 カナラズ オツウジノ アルヤウニ イタシマセウ
1(金)						
2(土)						
3(日)						
4(月)						
5(火)						
6(水)						
7(木)						
8(金)						
9(土)						
10(日)						
11(月)						
12(火)						
13(水)						
14(木)						
15(金)						
16(土)						
17(日)						
18(月)						
19(火)						
20(水)						
21(木)						
22(金)						
23(土)						
24(日)						
25(月)						
26(火)						
27(水)						
28(木)						
29(金)						
30(土)						
31(日)						
◎ハ ツケル	◎ ○ ×	◎ ○ ×	◎ ○ ×	◎ ○ ×	◎ ○ ×	◎ ○ ×

ナ